

災害対応ロボット普及に全力

公明党 鈴木ひでし

川県警察を適用第一号とし、特区の支援により商品化された「人工筋肉による遠隔建機操縦ロボット」を訓練で使用しています。

神奈川県は、国からの指定を受け、県央・湘南地域10市2町を「さがみロボット産業特区」として、2年前からロボット産業の振興に取り組んでいます。

しかし、災害・事故対応型や、インフラ点検用ロボットは、効果が期待できる現場において、身近に感じる機会を設けることは容易ではなく、まだ課題解決の手段になると実感できる状況となっています。

そこで、今年2月の定例会の際、黒岩祐治県知事に「そこで、今年2月の定例会の際、黒岩祐治県知事に」と言われる災害対応ロボットの開発の後押しにもつながると進言しました。

モニター制度新設

提案を受け県は、現場への導入促進を目的に、モニター制度をスタート。神奈

2003年神奈川県議会議員初当選。
公明党神奈川県本部副代表
第109代神奈川県議会副議長
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>
FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>
ml_suzuki-ctl@labo2.sere.jp

運転席に装着された遠隔建機操縦ロボットを視察



で取り組んでいきます。